

117号、6ページ

“学校教育の充実”、“県民文化の振興”、など一昭和54年度重点施策決まる、高等学校進学率向上の推進について一県後期中等教育審議会第二次答申から、昭和54年度福島県奨学生募集、郡山会館オープン

(3) 規格・部数

B5版 各号26,300部

(4) 配布対象

教育庁職員、小・中・高・養護学校教職員、市町村教育委員会職員、公民館常勤職員、県議会議員、知事部局関係各課、文部省、都道府県教育委員会、その他関係教育機関

## 4 教育年報

(1) 編集方針

- ① 昭和53年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。
- ② 逐年累積記録とするところから、過年度に引き続く体裁とし、大幅な変更はさける。しかし、新規事業の成果は積極的に記録し、その年度の特徴として位置づける。

(2) 内容

昭和53年度の県教育行政の実績

(3) 規格・ページ数・部数

B5版横組み、356ページ、1,350部

(4) 配布対象

教育庁各課室(所・館)、小・中・高・特殊教育諸学校、市町村教育委員会、県議会議員、知事部局関係各課、文部省、都道府県教育委員会、その他関係教育機関等

## 5 福島県の教育

(1) 編集方針及び内容

本県教育界の実情と教育行政の要点を、図表化して編集し、教育庁への来訪者等に配布して、教育についての理解を深める。

(2) 規格・ページ数・部数

A版長6つ切り、16ページ、2,500部

(3) 配布対象

教育庁各課室(所・館)、市町村教育委員会、文部省、各都道府県教育委員会、県教育行政機関への来訪者等

## 6 教育庁各課室(所・館)の広報紙・誌

総務課以外の各課室(所・館)の広報刊行物は、次のとおりである。

(53年度)

刊行物名	課(所・館)	発行回数	規格	ページ数	発行部数
社会教育	社会教育課	4	B5	20	2,300
体育時報	保健体育課	1	B5	40	1,100
体育時報別冊	〃	1	B5	80	1,100
ふくしま福利だより	福利課	4	B5	8	23,500
所報ふくしま	教育センター	5	B5	28	1,500
館報あづま	県立図書館	3	B5	8	2,000
所報	少年自然の家	4	B5	8	2,000
県北の教育	県北教育事務所	3	B5	3	3,600
県中教育	県中教育事務所	4	B5	4	4,150

刊行物名	課(所・館)	発行回数	規格	ページ数	発行部数
教育広報県南	県南教育事務所	3	B5	3	1,600
あいづね	会津教育事務所	4	B5	4	2,900
教育広報南会	南会津教育事務所	2	B5	2	750
教育広報相双	相双教育事務所	3	B5	3	2,000
教育広報いわき	いわき教育事務所	3	B5	4	3,000
教育事務所要覧	各教育事務所	1	B5	—	—
文化福島	文化センター	12	B5	16	3,000
海 青	海浜青年の家	3	B5	10	2,000

## 7 教育長定例記者会見

教育に対する県民の期待と関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進のため、定期的に教育長と県政記者(14社)との会見を行った。

日時 原則として毎月第3月曜日、13時30分

会場 教育委員会

内容 県民に広報を必要とする重要な施策及び行事等昭和53年度に取り上げた主な内容は、次のとおりである。

4月17日 昭和53年度福島県公立高等学校入学選抜の結果について

9月26日 昭和53年度教育・文化功労賞表彰者について

11月24日 昭和54年度県立高等学校生徒募集定員について

3月26日 昭和53年度末人事異動について

## 8 記者発表

報道機関をととして、教育行政についての県民の理解と協力を得るため、庁内各課の広報を要する事項について、随時県政記者クラブ及び社会記者クラブで記者発表を行った。

月別の発表件数は、次のとおりである。

昭和53年度月別記者発表件数(資料提供を含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	5	11	13	13	23	5	21	14	10	20	11	5	151

## 9 地区別教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として、47年度から地区別教育広聴会を実施してきたが、53年度は次の3地区で行った。

第1回 県中地区 5月25日(木) 県郡山合同庁舎

第2回 南会津地区 7月13日(木) 県田島合同庁舎

第3回 相双地区 9月14日(木) 県原町合同庁舎

(1) 目的

県教育委員会の行政施策について、幼・小・中・高校の教育現場代表者等の建設的意見をきき、本県教育行政の参考に資する。

(2) テーマ

① 県中地区

児童生徒の健全育成を図るため、地域ぐるみの生徒指導はいかにあるべきか。

② 南会津地区

青少年の健全育成を図るため、どのように生徒指導を